

# ちの市議会だより

## CHINO CITY COUNCIL REPORT

2014年7月17日 第10号

〒391-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番1号 ☎0266-72-2101 FAX0266-73-7936

茅野市議会

検索

発行/茅野市議会 編集/議会広報部会 印刷/株式会社 オノウエ印刷

<http://www.city.chino.lg.jp/>

### 目次

常任委員会報告	2
行政視察について	6
請願・陳情議決結果、 一般質問通告一覧	7
議決結果・賛否一覧	8
諏訪中央病院増改築事業について	9
議会報告・意見交換会 ご意見	10
議会報告・意見交換会開催のお知らせ、 (仮称)市民活動センターの設置について 編集室より	12

## ■「仮面の女神」が国宝に答申されました。

「縄文のビーナス」と合わせ茅野市所有の国宝が2点となる予定です。  
(6月定例会 補正予算可決 記念事業に係る経費として、479万6千円の補正増)

平成12年8月23日に、茅野市湖東の中ッ原遺跡から出土した縄文時代の土偶「仮面の女神」が、平成26年3月18日に、国の文化審議会において国宝に指定するよう文部科学大臣へ答申されました。

茅野市では、国宝指定に合わせ「仮面の女神 国宝指定記念事業」を予定しています。

### 具体的な事業内容

- ・ 国宝指定を記念した懸垂幕の作製
- ・ 「仮面の女神」贈答用レプリカの作製
- ・ 縄文ポロシャツを製作しての「女神のクールビズ」の取組



「仮面の女神」正面

## ■平成26年2月豪雪被害

### 茅野市内の復興進む

(6月定例会 補正予算可決 緊急支援対策として、5億737万6千円の補正増)

今年2月の豪雪により被災した農業施設等の撤去や、再建を支援する緊急支援対策が行われます。

なお、補助金の申請等の具体的な手続きは、7月中に広報等でお知らせされる予定です。



再建が進むパイプハウス (宮川地籍)





茅野市議会6月定例会は、5月29日(木)から6月19日(木)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など8議案、諮問1件が審議され、いずれも原案のとおり承認、同意、可決されました。

また、請願、陳情9件が審議され、採択、不採択はそれぞれ3件、趣旨採択は2件、継続審査は1件となりました。また、意見書案4件は可決、1件は否決されました。

各議案の一覧及び、議決結果は、8ページをご覧ください。

また、審査経過及び結果は、常任委員会報告のページをご覧ください。

# 常任委員会報告

※5月29日に各委員会の委員長が改選されました。

**予算決算委員会**  
委員長 宮坂 武男

予算決算委員会に付託された案件は、平成26年度の補正予算に係る議案2件。

議案第35号  
「平成26年度茅野市一般会計補正予算(第1号)について」



この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ、7億7188万5千円を追加し、257億2188万5千円とするもの。

## 主な歳出

●総務省から「過疎集落等自立再生対策事業」の採択を受け、槻木区の舞台の改修など、地域の



再建が進むパイプハウス

●歴史文化の継承と地域の活性化を図るための補助金9百万円の補正増。

●国の経済対策による緊急雇用創出臨時特例基金の積増しが行われ、民間事業の活力を用いた雇用の拡大及び処遇改善に取り組む事業として「地域人づくり事業」が創出されたことに伴い、市内企業に対して公募を行い、対象事業所を選定し、事業委託を行っていく事業として、4525万8千円の補正増。

●今回の大雪による被災農業施設などへの緊急支援対策として、5億737万6千円の補助金の補正増。

●「仮面の女神」が国宝指定されることから、茅野市の縄文を強くアピールするための記念事業に係る経費として、479万6千円の補正増。



「仮面の女神」

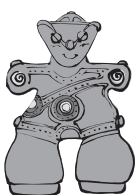
議案第36号  
「平成26年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について」



この議案は、歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ、538万6千円を追加し、60億16万5千円とするもの。

## 主な歳出

●制度見直しに伴うシステム改修に係る費用の補正増。



総務環境委員会

委員長 堀 晃

総務環境委員会に付託された案件は、議案1件、請願1件、陳情2件。

議案第33号  
「茅野市税条例の一部を改正する条例について可決」

可決

この議案は、入湯税の課税免除の対象者及び入湯税の税率を改定するためのもの。  
施行日は平成26年7月1日。

〔質疑〕

「修学旅行の場合、入湯税は70円であるが、これが減免されると、どのような効果があるか。修学旅行等は旅費がセットになっているので、税が減免になっても旅行者がもうかるだけではないか。旅館業者にはどのような波及があるのか。」

回答

「70円は高校生の入湯税を減免することだが、県内では14市が実

施済みであり、修学旅行を誘致するに当たり70円の減免でも、数百人で万円単位の商談上の不利益がある。少子化の問題もあり生徒数が少なく、同じ土俵を整えるといった意味で教育上の見地から減免とした。」

質問

「ホテル・旅館に対して特別徴収義務者として入湯税の徴収を委託しているとのことだが、適正な減免対象のチェックをどのようにしているのか。」

回答

「免除の関係は申告書に記載することになっている。周知徹底を進めたい。改正を機に検査等も考えなければいけないと思っている。」

質問

「減免による影響額はどのようになるのか。」

回答

「高校生の70円減免の影響額は、平成24年は17万6千円、25年は2万3百円ほどである。」

請願2

核兵器全面禁止の為の決断と行動を日本政府に求める意見書提出の請願

趣旨採択の意見

採択

「核兵器を持つていない国が、持つていない国を取り囲むようにして核兵器廃絶へ追い込んでゆくと、いう趣旨には賛同できるが、極東から東シナ海にかけて核保有国が揃っている中で、アメリカが深くかかわることは事実であり、安保条約が縛りとなって簡単に済ませることはできない。しかし請願の趣旨は理解できる。」

「日本は原子爆弾を落とされ、アメリカとの関係もあり積極的にはなかったが、人類の恒久的の願いとしてこの請願は当たり前のこと。」

「請願の趣旨は理解できる。北朝鮮の核開発の問題などがあり、日本とアジアの平和の為にもう少し議論したい。」

「提出者の案とは違っても意見書を提出したい。」

陳情8

「武器輸出三原則」の緩和に反対する陳情書

採択の意見

不採択

「第三国に輸出する場合の歯止めがない。日本が守ってきたことを大転換するものだ。」

「アリの一穴というように、小さくても一度始めれば歯止めが利かなくなる。」

「武器輸出は挑発行為で無言の圧力ととられかねない。」

不採択の意見

「平和貢献や日本の安全保障に役立つ場合に限り、厳格な審査をもって輸出を認めるということなので問題はない。」

「日本が戦争国家へ突き進むと、か平和主義が崩れるという心配をしているが、良識を持って選んだ国会議員が決めることなので反対する必要はない。」

「最悪のシナリオを想定しているが、全く歯止めがないわけではない。経済があつてこそ、福祉があり生活がある。前進という見方もある。」

「死の商人ということまで考えるのはどうかと思う。」

# 経済建設委員会

委員長 篠原 啓郎

経済建設委員会に付託された案件は、議案1件、陳情3件。

議案第31号

「市道路線の認定について」  
(玉川、宮川地籍)

可決

この議案は、道路法第8条第2項の規定により市道路線を認定するもの。(宅地開発に伴う市道路線の認定。)

質問

「宅地開発に伴う緑地帯の設置について、決まりはあるか。」

回答

「三千平方メートル以上の開発においては、都市計画法に沿った申請書を提出してもらう必要がある。また、緑地帯の面積は、茅野市生活環境保全条例により、開発面積の5%以上と決まっているが、その設置場所については、開発者の考えで行っている。」

質問

「路線名、ブロック番号4、路線番号3906の道路のふくらみについて、なぜ一部だけふくらんでいるのか。」

回答

「この道路のふくらみについては、この場所は、残地であるが、開発業者が、公安委員会と協議をし、隅切りを付け、オレンジ色のポストを立て、ゼブラを引いて安全に通行できるように配慮している。このため、市道として引き取って良いだろうという判断をした。」



市道認定のための現地視察(玉川、宮川地籍)

陳情3

「過労死防止基本法の制定を求める意見書」採択を求める陳情

採択の意見

採択

「過労死は、国でも大きな問題として取り上げられており、既に過労死等防止対策推進法案が衆議院で可決されている。また、陳情書の内容にも問題はなく、この陳情を採択することに賛成である。」

陳情5

「最低賃金の改善と中小企業の支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

趣旨採択の意見

採択

「最低賃金の改善と中小企業の支援の拡充を求めるという趣旨には賛成である。」

「最低賃金が上がらなければ、若者の生活が成り立たず、結婚もできないという悪循環が続くことになり、人口減少問題も解決しない。人口減少問題という観点からも、経済の活性化や雇用の取組をしていかなくてはならない。」

「全国一律の最低賃金とするこ

とがよいのか、最低賃金が大幅に引き上げられた場合、企業自体がどれだけ持ちこたえることができるか疑問が残る。」

陳情9

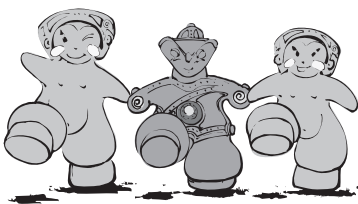
労働者保護ルール改善反対を求める意見書の採択を求める陳情書

採択の意見

採択

「この陳情からは、強く労働者を保護していきたいという気持ちが感じられる。」

「表題にある改悪という言葉については、言葉自体が強すぎるため、抵抗があるが、表題は、労働者保護の強い意思の表れであり、陳情者の意思を尊重したい。」





福祉教育委員会

委員長 望月 克治

福祉教育委員会に付託された案件は、請願1件、陳情2件。

請願1

子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める県への意見書の提出を求める請願



採択の意見

「医療費の無料化はすでにされているが、窓口でいったん医療費を支払わなければいけない。これを止めて受診時に無料にしてほしい」と言う請願である。」

「若いお母さんの中に、窓口の支払いが辛いと思っている方がいることも確か。山梨県では窓口無料化で医療費の増加がみられると言っていることも学んだ。県でも検討をラダラと受けるのではなく、介護予防・健康予防を進めることも含めて、県に意見を上げたい。」  
「国保の持続性を考えると、国が負担を減らす方向は分かる。し

かし、この件の決定権は国にある、国会で議論すべきである。国会において田村厚生労働大臣も、36都府県で実施している現状を踏まえて、検討せざるを得ない状況になっている。この場で議論すべきは、国のやっている減額調整が是非かということではなく、茅野市民の福祉・医療サービスという観点で見たときにどうかということ。36都府県が実行している現状を踏まえて、医療費の増減なども国が調査研究して、国や県が判断することを促すという意味で採択すべき。」

不採択の意見

「何でも無料というのは疑問が残る。医療費がいくらかかったかを知るのには大事。茅野市では貸付制度もあり、お金が無ければ医者にかかれないう状況ではないので、現状が良い。」

「無料化という中で、無料になっていないという難しい問題だと分かった。保健制度の中で運営をきちんとしていくのが大前提となる。窓口での支払いの負担が大きいかというと、2〜3か月後に戻ってくる仕組みになっている。」

現状でいい。」

「請願者のお話を伺うと必要性は感じるが、議員になって15年の間に福祉医療費の対象拡大がなされてきた。無料化が理想ではあるが、現状でいい。」

陳情6

「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情書



採択の意見

「平成19年度から採択をしているので、過去の例に倣い採択とした。」

「タダと言う点、旅費等の復元等は疑問が残るが、教育の機会均等、教育水準の確保は望むところ。」  
「義務教育をしっかりと守っていく意味で採択したい。」

「退職手当がどこも下がる中で疑問があるが、これは退職手当をあげると言うことではなく、国の責任を求めているものなので、採択したい。」

「義務教育は大事な制度だと思う。国にきちんと負担してもらいたいので、採択したい。」

陳情10

不登校・ひきこもり等支援事業に関する陳情書



採択の意見

「市では、適切な施策をもって対応している、民間の現状に対して出席と認めない、財政支援も行わないとの考えのようだが、6市町村にまたがる問題なので広域に出したいところ。しかし、広域連合の所管ではないので、市町村議会に提出しているところなので、茅野市には適合しない部分もあるが、こうした問題提起を受けて、市がこうした団体と意見交換や連携をする中で現状を把握し、市では出来ないことは国や県に支援を求めるなどの対応は可能と感じる。市の対応には言及しないが、議会として側面支援の意味から採択し、市に問題提起をして6市町村での連携等が検討される場所に結びつきたい。」

「市の話を聞くと、検討の余地はあると感じた。陳情者は行政と連携・検討していくことを求めていると感じるので、採択して、市が相談を受けるきっかけとしたい。」

「市は義務教育について、状況を把握して支援したいとの想いがあるようだ。『子どもサポートチームすわ』の現場を見て、現場の切ない声も聴いている。学校にはいられない。中間教室にもいられない方々の居場所として必要と思うので、側面支援として採択したい。」

「実現性はかなり低いが、そのことをもって不採択とする理由にはならない。実現の可能性は市がやることであり、議会は陳情者の想いを行政に伝え、経過をチェックすると言う立場である。」

「市に伝えることで、行政と団体との話し合いの場が作られ、その中で民間団体も要望実現のための努力もなされるはず。そうした協議の場をつくることは必要。そのため道の道として採択したい。」  
「市としてもいろいろの条件が必要とのことだった。そうしたことを市と『子どもサポートチームすわ』で協議してくださいと促すことで側面支援としたい。」

### 不採択の意見

「このフリースクールは以前から承知している。フリースクールの中で解決しなければいけないことと、行政が解決してほしいことのかい離が大きい。現場は一生懸命やっている。問題も多岐にわたるので、どんぐりプランでも検討に載せると話されている。今回は厳しくして、もう一度陳情書として整えて提出してほしい。」

「今回の形式では、陳情をこのまま市に送り、経過報告を受けるだけになる。陳情者の想いに応えたいと思うが、6市町村の連携や意見交換を求めるとか、現状把握、内容照会等、もう一歩踏み込んだ要望があればよかった。」

「市の行っている適応教室では、受験生もいたりする中で文科省の指針に適合した状況がある。市ではカウンセラーも整備している。酷ではあるが難しい。」

「フリースクールの出席を学校の出席と同等に認めることは違うと感じる。協議の中で改善されていくことを期待するとの意見もあるが、陳情内容をそのまま採択することは疑問。」

## 行政視察

茅野市議会では、市政の発展と向上のため、委員会ごとに視察事項を定めて、先進的な自治体等を訪問して研修を受けています。

今年も、以下の日程で視察を行います。

なお、視察の報告につきましては、次号に掲載予定です。

### ■総務環境委員会

(委員名) 堀晃、樋口敏之、伊藤勝、小松一平、細川治幸、小平吉保  
(期間) 平成26年7月2日(水)から7月4日(金)まで(3日間)  
(視察先・視察事項) ・大分県由布市 太陽光発電事業の規制条例について  
・大分県豊後高田市 定住・移住応援について  
・佐賀県佐賀市 地域防災計画について

### ■経済建設委員会

(委員名) 篠原啓郎、山岸正衛、北沢千登勢、宮坂武男、勅使川原はすみ  
(期間) 平成26年7月22日(火)から7月24日(木)まで(3日間)  
(視察先・視察事項) ・富山県富山市 コンパクトシティ構想について  
・石川県輪島市 街なみ環境整備事業、本町・朝市通り整備事業、中心市街地活性化の取組について  
・富山県黒部市 地域材の活用推進事業、宮野用水発電所発電電力の活用方法、鳥獣被害防止計画について

### ■福祉教育委員会

(委員名) 望月克治、両角昌英、伊藤玲子、小池賢保、野沢明夫、大久保功身  
(期間) 平成26年7月1日(火)から7月3日(木)まで(3日間)  
(視察先・視察事項) ・北海道東川町 幼保一元化保育事業について  
・北海道三笠市 小中一貫教育・コミュニティスクールの推進について  
・北海道札幌市 在宅未就労者就労促進支援事業について



# 平成26年6月定例会 請願・陳情 議決結果

番 号	表 題	提 出 者	採決結果	
			委員会	本会議
請願1	子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める県への意見書の提出を求める請願	新日本婦人の会 茅野支部	不採択	不採択
請願2	核兵器全面禁止の為の決断と行動を日本政府に求める意見書提出の請願	原水爆禁止 茅野市協議会	趣旨採択	趣旨採択
陳情3	「過労死防止基本法の制定を求める意見書」採択を求める陳情	いのちと健康をまもる 長野センター	採 択	採 択
陳情4	地球社会建設決議に関する陳情書	荒木 實	議場配布	
陳情5	「最低賃金の改善と中小企業の支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	諏訪地区労働組合連合会	趣旨採択	趣旨採択
陳情6	「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情書	長野県教職員組合 諏訪支部	採 択	採 択
陳情7	立憲主義を否定する「集団的自衛権行使」容認に反対する陳情書	茅野市9条の会	継続審査	
陳情8	「武器輸出三原則」の緩和に反対する陳情書	茅野市9条の会	不採択	不採択
陳情9	労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める陳情書	日本労働組合総連合会 長野県連合会 日本労働組合総連合会 長野県連合会 諏訪地域協議会	採 択	採 択
陳情10	不登校・ひきこもり等支援事業に関する陳情書	特定非営利活動法人 子どもサポート チームすわ	採 択	不採択

## 議場で行われる本会議 録画放送でご覧いただけます。

一般質問等の録画映像がホームページからご覧になれます。(質問日の一週間後からご覧いただけます。) 実際の質問の様子、市側の答弁について、ぜひ動画でご覧ください。

また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧もできますのでご利用ください。

6月定例会の会議録は、8月末頃にシステムから閲覧できるようになります。

WEBで検索

茅野市議会

検索

## 茅野市の課題を問う!

平成26年6月定例会の一般質問は、6月10日、11日、12日の3日間行われ、15人の議員から24項目についての質問が市側に出されました。

### 6月定例会一般質問通告一覧

	件 名
樋口敏之	1 歯止めがかからない人口減と対策について
篠原啓郎	2 これからの「まちづくり」について
伊藤玲子	3 豪雪被害の対応に関する検証の課題、教訓等について
	4 学童クラブの現状と更なる充実について
山岸正衛	5 「市民参加・ふれあい森林づくり事業」について
	6 「ゆうゆう館」利用者からの苦情について
	7 国史跡「駒形遺跡」の整備、活用について
北沢千登勢	8 これからの公共施設のあり方と財政負担の軽減策について
両角昌英	9 縄文教育について
	10 選挙について
勅使川原はすみ	11 子育て支援の充実について
細川治幸	12 「縄文王国茅野」の映像化について
	13 福祉施策について
小池賢保	14 地域の危機管理について
宮坂武男	15 槻木の舞台について
	16 運動公園の施設整備と活用について
望月克治	17 福祉医療費の窓口無料化について
	18 国民健康保険の県一元化について
伊藤勝	19 平成26年度市政経営方針について
堀 晃	20 縄文プロジェクトへ縄文文化の価値をいかに反映させ市民に浸透させるか
	21 山の日制定について
野沢明夫	22 道の駅設置について
	23 縄文プロジェクト(構想)の推進について
小松一平	24 少子化・高齢化・過疎化対策について



# 6月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算  
 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	北沢千登勢	伊藤玲子	宮坂武男	伊藤勝	篠原啓郎	小池賢保	望月克治	小松一平	樋口敏之	堀晃	勅使川原はすみ	細川治幸	野沢明夫	両角昌英	山岸正衛	大久保功身	
市長提出議案	28 茅野市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29 茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30 平成25年度茅野市一般会計補正予算(第10号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	32 茅野市固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	31 市道路線の認定について(玉川、宮川地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	33 茅野市税条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	35 平成26年度茅野市一般会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36 平成26年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	1 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告	2 専決処分の報告について																			
	3 平成25年度茅野市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について																			
	4 平成25年度茅野市水道事業会計予算の繰越について																			
	5 平成25年度茅野市下水道事業会計予算の繰越について																			
	6 茅野市土地開発公社の経営状況について																			
	7 茅野市総合サービス株式会社の経営状況について																			
	8 株式会社地域文化創造の経営状況について																			
	請願・陳情	1 子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める県への意見書の提出を求める請願	福	不採択	●	○	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●
2 核兵器全面禁止の為に決断と行動を日本政府に求める意見書提出の請願		総	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3 「過労死防止基本法の制定を求める意見書」採択を求める陳情		経	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4 地球社会建設決議に関する陳情書			議場配布																	
5 「最低賃金の改善と中小企業の支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情		経	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6 「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情書		福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7 立憲主義を否定する「集団的自衛権行使」容認に反対する陳情書		総	継続審査																	
8 「武器輸出三原則」の緩和に反対する陳情書		総	不採択	●	○	●	○	●	○	○	●	●	○	○	●	○	○	●	●	●
9 労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める陳情書		経	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
10 不登校・ひきこもり等支援事業に関する陳情書		福	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	4 核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書(案)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5 過労死防止基本法の制定を求める意見書(案)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6 労働者保護ルール改悪反対を求める意見書(案)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7 「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書(案)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	8 「匿名性を担保した授業評価と学校評価」に関する意見書(案)		否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議決日は、6月19日の議会最終日(但し、議案第28号、29号、30号、32号、諮問第1号は、5月29日の開会日に即決)  
 陳情10は可否同数のため、地方自治法第116条の規定に基づく議長採決により不採択とされた。



# 諏訪中央病院増改築事業について

諏訪中央病院が、これからも安定して持続的に医療提供を続けるためには、良好な療養環境と有能なスタッフの確保及び育成が必要です。このため、次のような考えに基づいて第3期増改築事業が行われています。

1. 病院の将来像を描き、変化に対応できる施設として、長期的、継続的に使用することができる施設にリニューアルします。
2. 機能変化に伴う施設的な不整合箇所を改善します。
3. 東西病棟、放射線部、検査部、外科系外来などについて、機関設備の抜本的な改修を行います。

## 財源と工期

### (1) 財源

一部病院の自己財源がありますが、増改築費用のほとんどは病院事業債(借入金)を予定しています。借入金の元利償還につきましては、組織市村(茅野市、原村、諏訪市)と諏訪中央病院で2分の1ずつ負担する予定です。病院を移転新築した第1期分の償還が平成27年度で終了するので、組織市村からの負担金が今まで以上に増えることはありません。

### (2) 工期

平成25年秋に着工し、北棟本体工事、研修センター解体・外来増築工事、既存部分改修工事を経て、平成29年4月にリニューアルオープンの予定です。

## 北棟本体工事

北棟は、救急外来、手術室、ICU、病室、厨房など第3期増改築事業の中心的な工事です。北棟5階建て本体工事は、大雪の影響を受けながらも順調に進み、6月からクレーン車による鉄骨組み上げ作業が始まり、平成27年3月に完成予定となります。

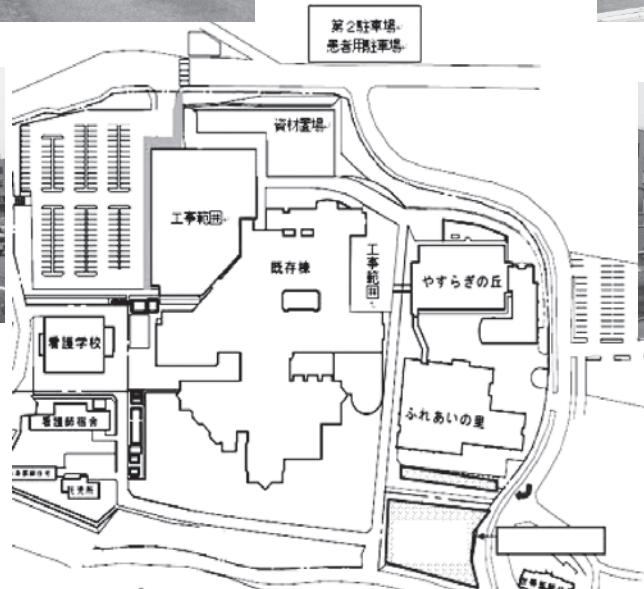
正面玄関へ向かう道から撮影



第2駐車場



病院西側から撮影



病院東側から撮影

# 議会報告・意見交換会を開催しました！



平成26年5月13日(火)に豊平地区コミュニティセンターにて、5月14日(水)にちの地区コミュニティセンター及び北山地区コミュニティセンターにて議会報告・意見交換会を開催しました。3会場合計111人のご参加をいただき、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

テーブル別グループ懇談では、市や市議会に対し、多数のご意見等をいただきました。以下にその主要な意見等をご紹介します。(詳細は茅野市議会のホームページをご覧ください。)  
 いただいたご意見等は、市ホームページに掲載するとともに、市政に関する意見等については、今後の参考としていただこう、市側へ伝えます。

## 議会運営や議会報告・意見交換会に関するご意見

- ・議員定数の削減に向けた検討をお願いしたい。財政構造改革が唱えられている中で、更に3人くらいの定数削減が必要では。
- ・今の議会報告・意見交換会のスタイルでもう少し続けていって良い。
- ・女性の参加者がいない。地域のことは女性の方が関心があり、市政との関わりも深いはず。もっと女性の参加を促すよう積極的な働きかけを。
- ・委員会報告の内容が理解できない。何を伝えたいのか。グループ懇談は声が聞き取りづらく無理があるのではないか。
- ・議会報告・意見交換会もテーマを持つことが必要だ。

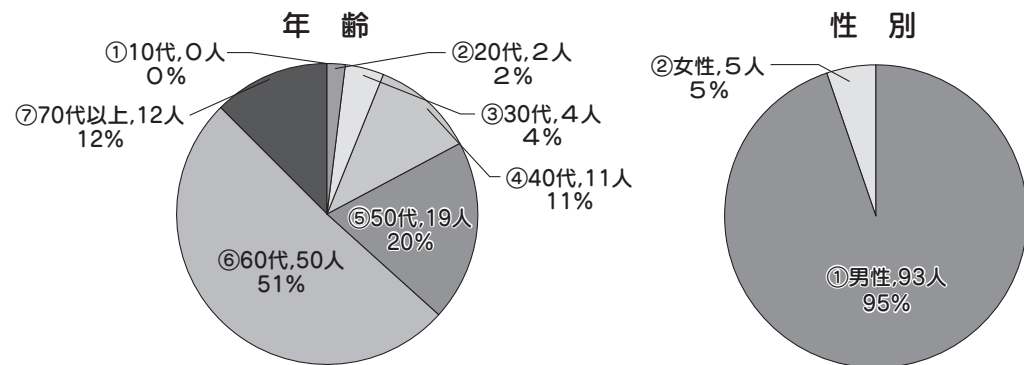
## 市政に関するご意見

- ・大雪の対応の見直しをしてもらいたい。
- ・路線バスの廃止について、オンデマンドを継続して地域の足を確保して欲しい。
- ・鳥獣対策をもっとやって欲しい。全体的に減ったという感じはしない。近隣市町村との連携も考えて欲しい。
- ・住宅リフォームの内容の拡大、期間の延長を検討して欲しい。
- ・人口減少に対する市の考え方は？子育てしやすい環境づくりの取組を考えて欲しい。現状では産めない、育てられない。
- ・国宝を活かした施策を観光面等から考えたまちづくりをして欲しい。
- ・2月の大雪を経験し、入区の必要性を改めて感じた。
- ・子ども達の将来が不安だ。以前は田舎にはいなかったような騾のできていない子どもが目立つ。子どもは家庭の中で育っている。地域の関わりがなくなっていないか。市や議会がリードして子育てをして欲しい。稲で言えば地域という苗代がなくなり、伸び放題になった田んぼの状態とを感じる。
- ・認知症の徘徊者について行政無線放送「こうほうちの」で流されている。行方不明の方を早く見つけ出すために、LCVFM等を活用して広域で対応するシステムを作ってほしい。防災行政無線放送で行う人探しの放送は、6市町村広域で流してはどうか。また、タクシー運転手、郵便局員、宅急便の方等にも情報提供をしてはどうか。
- ・市からの依頼が全て民間、民間にとパートナーシップということで労力が大変になっている。
- ・多様な市民の意見が反映されるような市民会議の人選を！様々な市民会議があるが、特定の市民だけの考えに偏ってきていると思う。



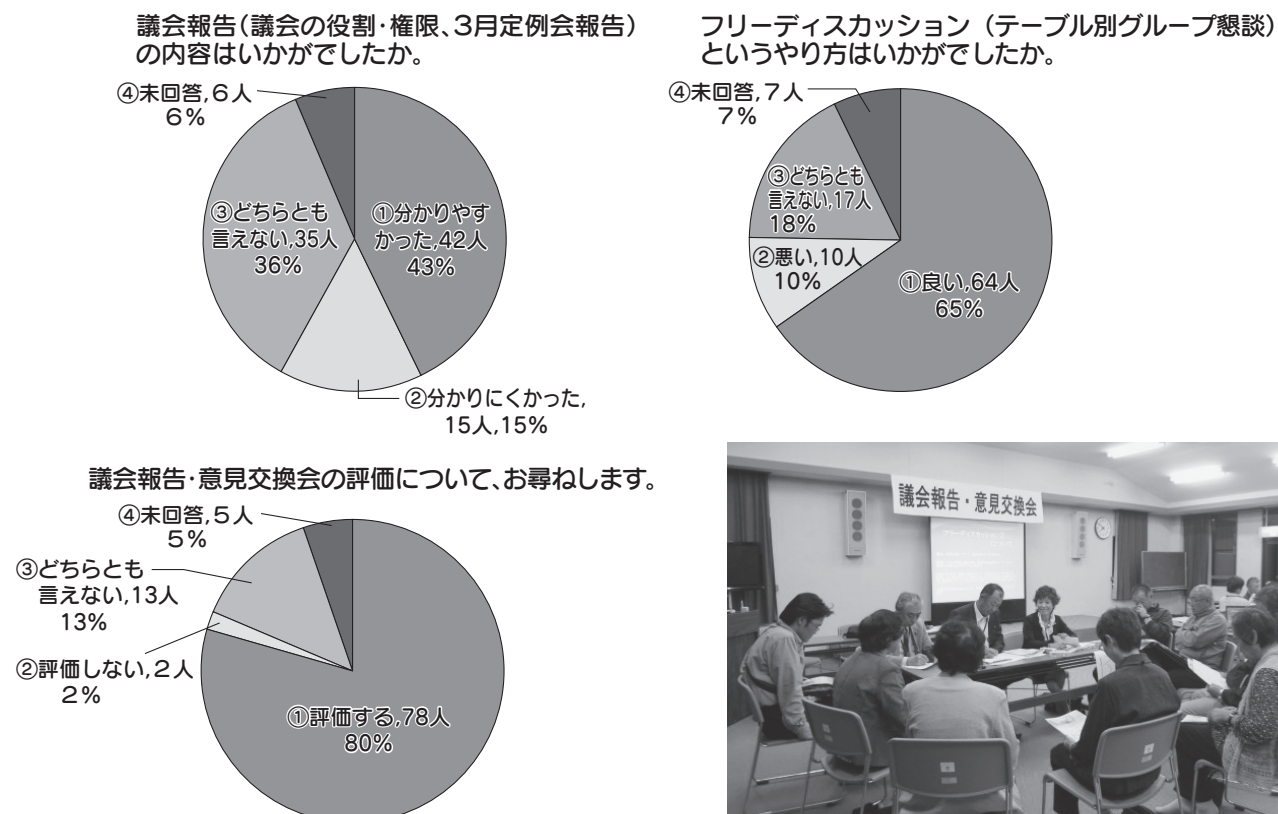
## 参加者内訳

ご参加いただいた方の約半数が60代の方、また、性別では、95%の方が男性でした。



## 開催内容・方法についてのご意見

参加者からのアンケートでは、開催内容や方法について概ね好評をいただき、継続開催を望む意見を多数いただきました。





## 議会報告・意見交換会開催のお知らせ

市民の皆さんに議会活動の状況を報告するとともに、市民の皆さんから直接ご意見をお伺いする場として、議会報告・意見交換会を開催します。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

### ■開催内容

【第1部】議会報告

- ・議会の役割について
- ・6月定例会で審議した主な議案について

【第2部】意見交換

- ・市政や議会に関する市民と議員との意見交換

### ■開催日時等

日 時	場 所	出席議員
8月5日(火) 午後7時～ ※受付：午後6時30分～	玉川地区コミュニティセンター	小平吉保、大久保功身、北沢千登勢、伊藤玲子、宮坂武男、篠原啓郎、望月克治、樋口敏之、細川治幸、両角昌英
8月7日(木) 午後7時～ ※受付：午後6時30分～	米沢地区コミュニティセンター	小平吉保、大久保功身、伊藤勝、小池賢保、小松一平、堀晃、勅使川原はすみ、野沢明夫、山岸正衛

### ■問い合わせ先

茅野市議会事務局 TEL：72-2101(内351・352) / FAX：73-7936  
E-mail：gikai@city.chino.lg.jp

## ■(仮称)市民活動センターの設置について

ボランティア団体を始めとする市民活動団体の交流拠点として、また、その活動を応援し、新たな活動を創出する場として、『(仮称)市民活動センター』設置に向けた検討が進められています。

(仮称)市民活動センターは、営利を目的としない公共性、社会性をもった市民活動・ボランティア活動を応援するとともに、そのような市民活動・ボランティア活動を創出するための拠点となって、茅野市が進めるパートナーシップのまちづくりをさらに推進することを目的として設置されます。

現在、平成28年度のオープンに向け、市民会議において運営計画等の検討がされています。

また、茅野市総合福祉センターを建替えその中に設置することから、障がいのある人などの活動については、公共性、社会性の有無にかかわらず、活動の場や交流の場、あるいは居場所そのものを提供することとしています。



茅野市総合福祉センター（茅野市塚原）  
※(仮称)市民活動センターが入る複合館に生まれ変わります。

## 編集室より

今年の冬は、豪雪による過去に例を見ない被害が発生しました。また6月初めには、梅雨入りしましたが、降水量が少ない空梅雨が続き、日本各地で異常気象となる中、今後も予想できない災害が心配されます。

茅野市議会では、議会改革を進め、開かれた議会を目指している中で、議会だよりの発行をしています。

情報化社会における情報の発信は、放送、放映によるものが主流となっていますが、これらの情報は、その場限りで終了してしまいます。

その点、紙面における情報は、手にとっても確かめられる利点があります。

議場で行われる本会議は、ピーナチャンネルとインターネットで生中継され、また録画放送もホームページからご覧いただけるようになりました。

しかし、傍聴に來られない方や、インターネットを使わない方もいます。議会審議の内容を紙面でお知らせすることは、大変重要なことだと思います。

これからも、議会広報部会では、市の市議会だよりの読まれる多くの皆様のご意見をお聞きし、住民と議会を結ぶものとなるよう、紙面の充実に努めていきます。

議会広報部会 宮坂 武男